

# 多職種による 認知症症例検討会 スタッフ用資料

- 00 表紙
- 01 当日配布資料(次第等)
- 02 アンケート
- 03 スタッフ名簿・役割分担
- 04 会場配置図・舞台配置図
- 05 タイムスケジュール\_確定版
- 06-1 講師等駐車場リスト
- 06-2 駐車場マップ\_講師駐車場
- 06-3 駐車場マップ(参加者事前配布)
- 07①-1 症例提示\_吉村先生
- 07①-2 プロブレムリスト\_吉村先生
- 07②認知症疾患医療センターの精神保健福祉士としての関わり\_堀田先生
- 07③訪問薬剤師としての関わり\_斉藤先生
- 07④地域包括支援センターとの関わり～本人と家族と地域の人たち～\_渡辺先生
- 07⑤ケアマネジャーの関わり～多職種との連携を通じて～\_櫻井先生
- 07⑥通所リハビリでの関り\_上松先生
- 07⑦その後\_櫻井先生・渡辺先生
- 08 多職種症例検討会チラシ\_修正版

**個人情報取り扱い注意**

# 多職種による認知症症例検討会 次第

日 時:令和6年9月4日(水)19:00~21:00(予定)

会 場:美喜仁桐生文化会館 スカイホール

## 1 開会挨拶

桐生市医師会 会長 菊地 一真

## 2 症例検討会

《登壇者》

①認知症疾患医療センター日新病院 センター長 吉村 章 氏

②認知症疾患医療センター日新病院 精神保健福祉士 堀田 梢 氏

③桐生調剤薬局 管理薬剤師 齊藤 利弘 氏

④地域包括支援センター山育会 主任介護支援専門員 渡辺 幸恵 氏

⑤サンホープケアプランセンターきりゅう 主任介護支援専門員 櫻井 栄太 氏

⑥介護老人保健施設サンホープ笠懸 介護主任 上松 理恵子 氏

## 3 ディスカッション

## 4 アンケート記入

## 5 事務連絡

## 6 閉会挨拶

桐生市医師会 副会長 高橋 厚

主催:桐生市、みどり市、桐生市医師会、群馬県認知症疾患医療センター日新病院

在宅医療介護連携センターきりゅう

後援:群馬県

◆本日はご参加ありがとうございます。「アンケート」へのご記入にご協力お願い致します。◆

## タイムスケジュール

時間	内容
19:00	開会
19:05	挨拶
19:10	<p>&lt;症例発表&gt;</p> <p><u>①症例提示・この症例の問題点</u></p> <p style="padding-left: 40px;">認知症疾患医療センター日新病院 センター長 吉村 章 氏</p> <p><u>②認知症疾患医療センターの精神保健福祉士としての関わり</u></p> <p style="padding-left: 40px;">認知症疾患医療センター日新病院 精神保健福祉士 堀田 梢 氏</p> <p><u>③訪問薬剤師としての関わり</u></p> <p style="padding-left: 40px;">桐生調剤薬局 管理薬剤師 齊藤 利弘 氏</p> <p><u>④地域包括支援センターとの関わり～本人と家族と地域の人たち～</u></p> <p style="padding-left: 40px;">地域包括支援センター山育会 主任介護支援専門員 渡辺 幸恵 氏</p> <p><u>⑤ケアマネジャーの関わり～多職種との連携を通じて～</u></p> <p style="padding-left: 40px;">サンホープケアプランセンターきりゅう 主任介護支援専門員 櫻井 栄太 氏</p> <p><u>⑥通所リハビリでの関わり</u></p> <p style="padding-left: 40px;">介護老人保健施設サンホープ笠懸 介護主任 上松 理恵子 氏</p>
20:10	<フロアーとのディスカッション>
20:20	<p>&lt;助言者(認知症サポート医)からのコメント&gt;</p> <p>①わたらせりバーサイドクリニック 平林 久幸 先生</p> <p>②岩下病院 宮本 重人 先生</p> <p>③北川内科クリニック 北川 隆太 先生</p>
20:35	<p>&lt;後日談報告&gt;</p> <p style="padding-left: 40px;">サンホープケアプランセンターきりゅう 主任介護支援専門員 櫻井 栄太 氏</p> <p style="padding-left: 40px;">地域包括支援センター山育会 主任介護支援専門員 渡辺 幸恵 氏 ほか</p>
20:45	<フロアーとのディスカッション>
20:55	挨拶
21:00	閉会



# Memo

---

## 多職種による認知症症例検討会 アンケート

本日はお忙しいなか、「多職種による認知症症例検討会」にご参加いただきまして大変ありがとうございます。

今後の研修やイベントの企画運営の参考とさせていただくため、ご参加いただきました皆さまのご意見をお聞かせください。

### 1 参加者の皆さまについてお聞きします。該当する箇所に○をつけてください。

- ア 医師   イ 歯科医師   ウ 薬剤師   エ 保健師   オ 助産師   カ 看護師  
キ 准看護師   ク 介護支援専門員   ケ 介護職員初任者研修   コ 理学療法士  
サ 作業療法士   シ 言語聴覚士   ス 社会福祉士   セ 精神保健福祉士  
ソ 介護福祉士   タ 視能訓練士   チ 技師装具士   ツ 歯科衛生士   テ はり師  
ト きゅう師   ナ あん摩マッサージ指圧師   ニ 柔道整復師   ヌ (管理)栄養士  
ネ その他( \_\_\_\_\_ )

### 2 今回の研修についてお聞きします。該当する箇所に○をつけてください。

(1) 今回の研修全体を通しての満足度を教えてください。

- ① 満足   ② やや満足   ③ やや不満   ④ 不満

(2)「1つのケースについて関係専門職が報告する形式」の症例検討会はいかがでしたか。

- ① 満足   ② やや満足   ③ やや不満   ④ 不満

(3) 次回の症例検討会で取り上げてほしい「テーマ」などがありましたら教えてください。

(4) ご意見・ご感想等ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

## スタッフ名簿・役割分担

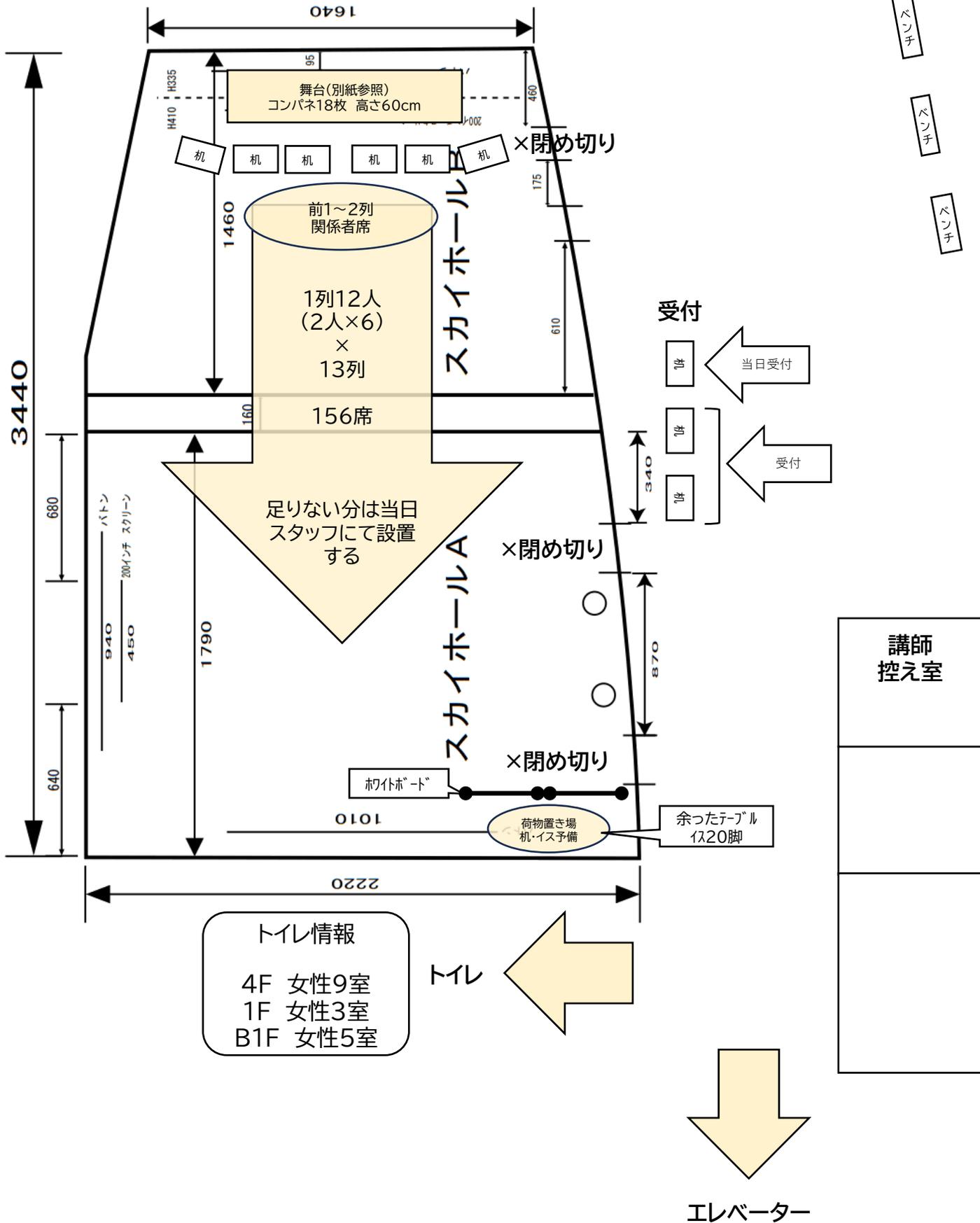
No.	所属	氏名	担当
1	認知症疾患医療センター日新病院	阪下 潤一	来賓対応、マスコミ対応
2	在宅医療介護連携センターきりゅう	小川 貴之	講師対応、マスコミ対応、ビデオ撮影、写真撮影、音響
3	在宅医療介護連携センターきりゅう	香取 麻里	会場、アンケート、タイムキーパー
4	在宅医療介護連携センターきりゅう	田村 伸子	司会、アンケート、ゴミ管理
5	在宅医療介護連携センターきりゅう	大崎由美子	受付、受付集計
6	桐生市健康長寿課	石塚 幸子	会場、マイク
7	みどり市介護高齢課	鏑木 早苗	当日受付、マイク
8	特別養護老人ホーム菱風園	松井 泰俊	駐車場
9	特別養護老人ホーム菱風園（実習生）	江口 琉夏	受付
	桐生市医師会	菊地 一真	開会挨拶
	桐生市医師会	高橋 厚	閉会挨拶
	桐生市医師会	前川 佳彰	

## 物品チェック表

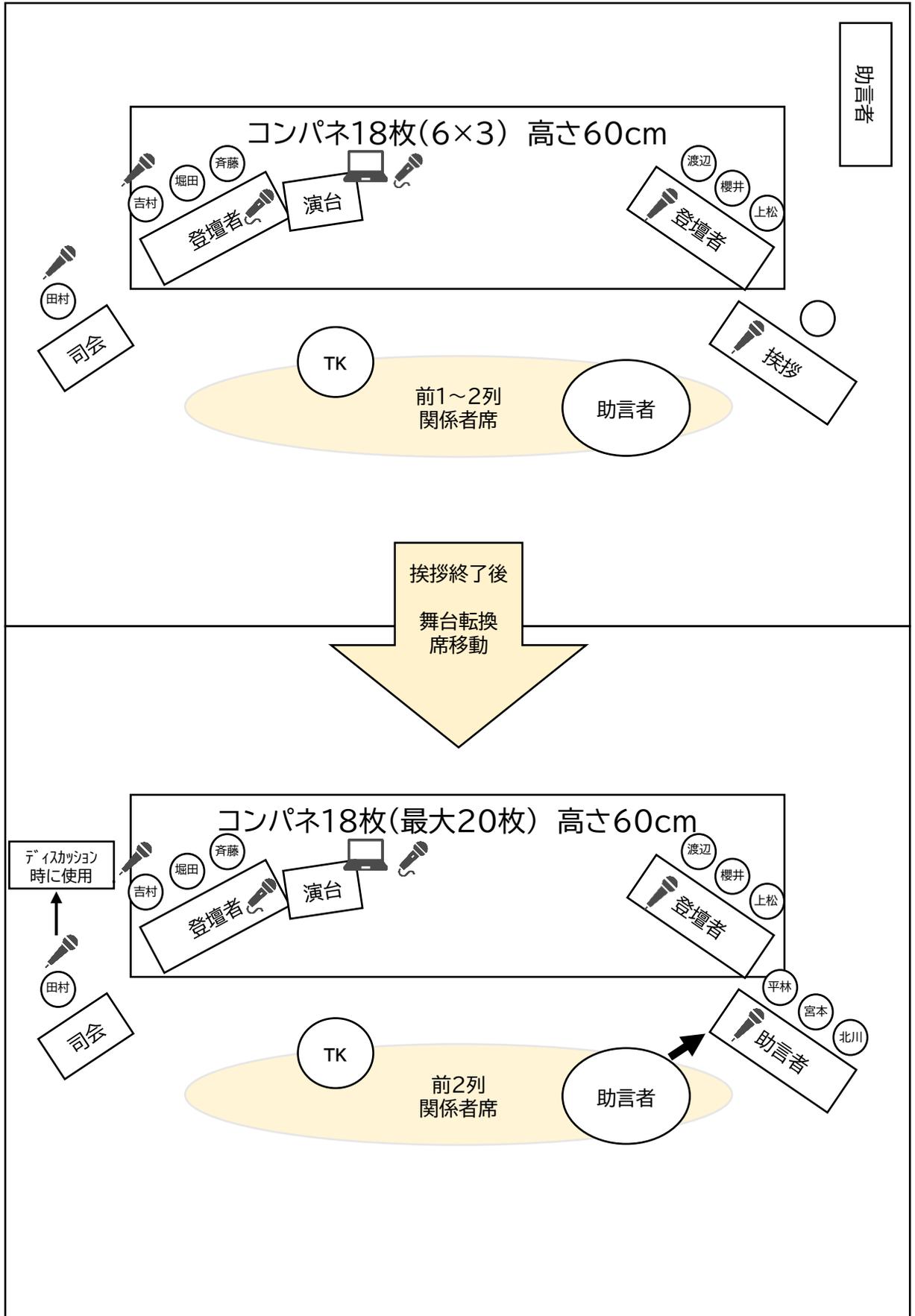
<input type="checkbox"/> 配布資料（ <input type="checkbox"/> 次第200 <input type="checkbox"/> 連携センターパンフレット200 <input type="checkbox"/> 初期集中チラシ200×2 <input type="checkbox"/> アンケート200）
<input type="checkbox"/> スタッフ用資料25（表紙、スタッフ名簿・役割分担、次第、講師スライド、アンケート等）
<input type="checkbox"/> スタッフ証15
<input type="checkbox"/> 群馬県認知症疾患医療センター日新病院パンフレット200
<input type="checkbox"/> 認知症フォローアップチラシ200
<input type="checkbox"/> 受付名簿3部 <input type="checkbox"/> 当日受付用申し込み書（あまったチラシ）20
<input type="checkbox"/> 垂れ幕（受付4、当日受付2、発表者1、司会1、座長1、講師控室、挨拶者2、登壇者6、助言者、助言者3）
<input type="checkbox"/> 縦看板 <input type="checkbox"/> 垂れ幕（会場案内） <input type="checkbox"/> タイムキーパー用カンパ
<input type="checkbox"/> ペットボトルお茶24 <input type="checkbox"/> 紙コップ10
<input type="checkbox"/> アンケート回収箱（袋）
<input type="checkbox"/> 撮影機器（ <input type="checkbox"/> ビデオカメラ <input type="checkbox"/> 三脚 <input type="checkbox"/> ドラムコード <input type="checkbox"/> 養生テープ）
<input type="checkbox"/> 機材関係（ <input type="checkbox"/> ノートパソコン <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> プロジェクター台 <input type="checkbox"/> VGAケーブル <input type="checkbox"/> HDMIケーブル <input type="checkbox"/> 音声ケーブル3.5mm <input type="checkbox"/> ドラムコード <input type="checkbox"/> マックリール <input type="checkbox"/> 変換アダプタ <input type="checkbox"/> ポインター）
<input type="checkbox"/> 文房具一式 <input type="checkbox"/> USBメモリー（バックアップデータ） <input type="checkbox"/> ゴミ袋2
<input type="checkbox"/> A4白紙10 <input type="checkbox"/> A3白紙5
<input type="checkbox"/> 駐車場用コーン10（事務局からも借りる ※高柳事務局長へ声かけ）
<input type="checkbox"/> 講師謝金 <input type="checkbox"/> 登壇者お土産6
<input type="checkbox"/> 消毒2～3 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> ペーパータオル

# 多職種による認知症症例検討会 会場配置図

ホワイエ



# 多職種による認知症症例検討会 舞台配置図



## 会場から借りるものリスト

- ・マイク(有線②、ワイヤレス④)
  - ・ビデオプロジェクター①、HDMIケーブル①
  - ・ドラムリール①
  - ・マイクスタンド(短)②
  - ・ホワイトボード②
  - ・司会台①
  - ・演台①
- ・仮設ステージ コンパネ18(6×3)枚、60cm

## 運営が持ち込むものリスト (電源を使うもの)

- ・ノートパソコン①
- ・ビデオカメラ①

## その他

- ・ノートPCから音源流します
- ・1F(EV前)に案内板を置きたいです
- ・16:00～準備を行います

多職種による認知症症例検討会 タイムスケジュール

時間	内容	担当
17:00	スタッフ会場入り～ミーティング	
17:30	会場設営	
18:30	開場	
18:45	登壇者・助言者・医師会関係者会場入り	
18:45・18:55	アナウンス	全体司会：連携センター田村
19:00	開会	
19:05～19:10	挨拶	医師会：菊地会長
19:10～20:10 (60分)	<p>(1) 症例検討</p> <p>【発表順】</p> <p>①認知症疾患医療センター日新病院 吉村医師</p> <p>②認知症疾患医療センター日新病院 堀田精神保健福祉士</p> <p>③桐生調剤薬局 齊藤管理薬剤師</p> <p>④桐生市地域包括支援センター山育会 渡辺主任介護支援専門員</p> <p>⑤サンホープケアプランセンターきりゅう 櫻井主任介護支援専門員</p> <p>⑥介護老人保健施設サンホープ笠懸 上松介護主任</p>	<p>症例検討進行(座長)：吉村先生</p> <p>※ケース概要の説明 →吉村先生の発表に含める</p> <p>報告時間 10分程度×6=60分+α分 ↓ <u>もしこの部分の時間が余ったら ディスカッションの時間にあてる。</u></p>
20:10～20:20 (10分)	(2) フロアーとのディスカッション	
20:20～20:35 (15分)	<p>(3) 助言者(認知症サポート医)からのコメント</p> <p>①わたらせリバーサイドクリニック 平林久幸先生</p> <p>②岩下病院 宮本重人先生</p> <p>③北川内科クリニック 北川隆太先生</p>	<p>コメント時間 5～7分程度×3=15+α分</p>
20:35～20:45 (10分)	<p>(4) 後日談報告</p> <p>櫻井主任介護支援専門員 渡辺主任介護支援専門員 他</p>	<p>報告時間 10分程度</p>
20:45～20:55 (10分)	(5) ディスカッション	
20:55	挨拶	医師会：高橋副会長
	アナウンス	全体進行：連携センター田村
21:00	閉会	
	会場片付け	

## 多職種による認知症症例検討会 講師等駐車場 リスト

	氏名	色	車種	ナンバー	備考
1	菊地一真	白	M.ベンツ	5930	桐生市医師会
2	高橋厚	白	レガシィ	群馬333 に 3515	桐生市医師会
3	前川佳彰	白	ベンツ	・124	桐生市医師会
4	平林久幸	赤・シルバーの ツートン	マツダ MX-30	3988	助言者
5	宮本重人	白	マツダ CX-5	(確認中)	助言者
6	北川隆太	パールブルー	フィット	群馬531 も 2319	助言者
7	吉村章	ネイビー	BMW 320d	宇都宮330 ひ 5959	登壇者
8	堀田梢	ワインレッド	ダイハツ キャスト	3572	登壇者
9	櫻井栄太	シルバー	ノア	な 9834	登壇者
10	渡辺幸恵	黒	パッソ	とちぎ50 た 5278	登壇者
11	上松理恵子	白	ノア	そ 7808	登壇者
12	斉藤利弘	白	ホンダFit	群馬532 つ 1035	登壇者
13	連携センター	白	タント	9196	事務局

# 多職種による認知症症例検討会駐車場マップ



講師等駐車場について  
マップの☆印のあたりが講師等駐車場になります。  
コーンが置いてあります。  
入り時間にはスタッフもいるように致します。

④桐生厚生総合病院第3駐車場

①文化会館構内駐車場

②桐生市役所構内駐車場

# 多職種による認知症症例検討会駐車場マップ

③文化会館  
立体駐車場

②桐生市役所  
構内駐車場

④桐生厚生総合  
病院第3駐車場

①文化会館  
構内駐車場



# 症例提示

群馬県認知症疾患医療センター  
センター長 吉村 章

# 症例 80代女性

(地域包括支援センター渡辺様からの紹介)

- 令和1年頃, 毎年職員健診を受けていたAクリニックで認知症を疑われたが放置していた。
- よく利用する足利市の温泉施設から車を運転して帰る際に道に迷い, 警察の援助を受けて帰宅した。認知症かどうか受診を勧められた。
- 訪問販売員にATMに連れていかれ, 10万円くらい下ろさせられた。

## 既往歴)

狭心症, 脂質異常症, 下肢静脈瘤, 虫垂炎

## 現病歴)

- ・平成30年8月21日が最終受診日で, その後は内服治療を受けていない
- ・右肩痛で整体に通っている

## 生活歴)

- ・中学校を卒業後に就職し, 仕事をしながら定時制高校を卒業した
- ・部長兼社長のドライバーとして活躍していた
- ・常に外食, 毎日銭湯, 以前はゴルフが趣味, 運転している車は傷だらけ
- ・独居, 結婚歴なし, 何十年か前に同居の父が死去してから家の中は散らかっている, 草津在住の養子(甥)が世話をしてくれる

現症)

身長147cm, 体重 61kg (BMI 28.3)

血圧 164/64mmHg, 脈拍 62回/分(整)

血液検査)

中性脂肪 329mg/dL (その他に異常値なし)

認知症関係のテスト)

HDS-R 13.5点, MMSE 22点

TMT-A 2分40秒, TMT-B ⑪の時点で中止(7分36秒)

# HDS-R, MMSE(初診時)

質問	配点	回答	HDS-R	MMSE
1 あなたは何歳ですか	1点 (1歳違い0.5点)	83	0.5 (4)	
2 ここはどこですか	具体的名称 1点 抽象的名称 1点		(2)	(1)
ここは何地方ですか	各1点			(1)
ここは何県ですか				(1)
ここは何市ですか		菱町, 16.		(1)
この施設は何ですか				(1)
ここは何階ですか				(1)
3 今は何月ですか	各1点	10月	(4)	(4)
今日は何日ですか		17日		
今日は何曜日ですか		火曜日		
今年は何年ですか		5年/令和5年		
今の季節は何ですか		秋, 7月/10月		
4 これから言う言葉を繰り返してください 「桜、猫、電車」あるいは「梅、犬、自動車」 あとでこの3つの言葉を思い出してもらいますから、よく覚えておいてください	各1点	繰返し / 回 (6回まで)	(3)	(3)
5 100から7を引いてください(93)	1点		(1)	(1)
そこからまた7を引いてください(86)	1点	87		
以後、3回 7を引く(79,72,65)	各1点	87, ちびん / 79, 72, 65		
6 これから言う数字を逆から言ってください 6-8-2 (286) (正当した場合4桁の逆唱に進む)	1点	X	(1)	
3-5-2-9 (9253)	1点	293		
7 先ほど覚えてもらった言葉をもう一度、言ってみてください ヒント(植物・動物・乗り物)	HDS-R 各2点 ヒントで正当1点 MMSE 各1点	春 / 8月 / 7月 ??		
8 野菜の名前を10個思い出してください	各1点	タマネギ トマト ホウレンソウ ジャガイモ		
5個 0点, 6個 1点, 7個 2点 8個 3点, 9個 4点, 10個 5点				
9 時計を見せながら「これは何ですか？」 鉛筆を見せながら「これは何ですか？」 残りの3品を見せ、隠した後に「何がありましたか？」(時計、鉛筆、鍵、歯ブラシ、スリッパ)	各1点			
10 今からいう文を、くり返して言って下さい 「みんなで力をあわせて綱を引きます」	1点			(1)
11 今から私がいう通りにしてください 「右手にこの紙を持ってください」 「それを半分に折りましたんでください」 「私に渡してください」	1点 1点 1点			(3)
12 この文を読んで、その通りにしてください	1点			(1)
13 この部分に何か文章を書いてください どんな文章でもかまいません	1点			(1)
14 この図形を正確にそのまま書き写してください	1点			(1)
アルツハイマーらしさ(十)	合計(どちらも30点満点)		13	22

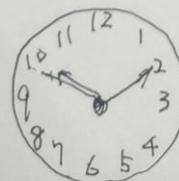
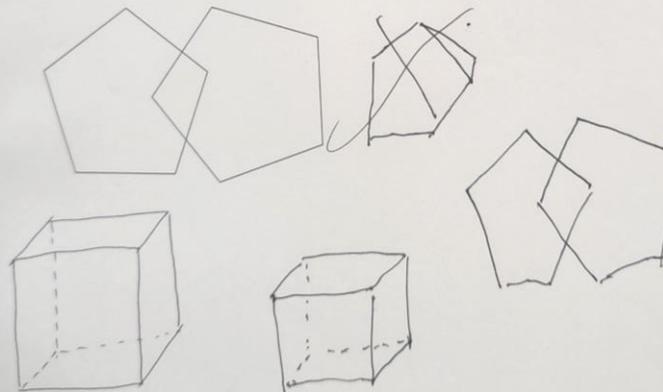
12.「この文を読んで、その通りにしてください」

『目を閉じてください』

13.「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」

本日のお花語のわり  
有難うございます。

14.「この図形を正確にそのまま書き写してください」



# TMT

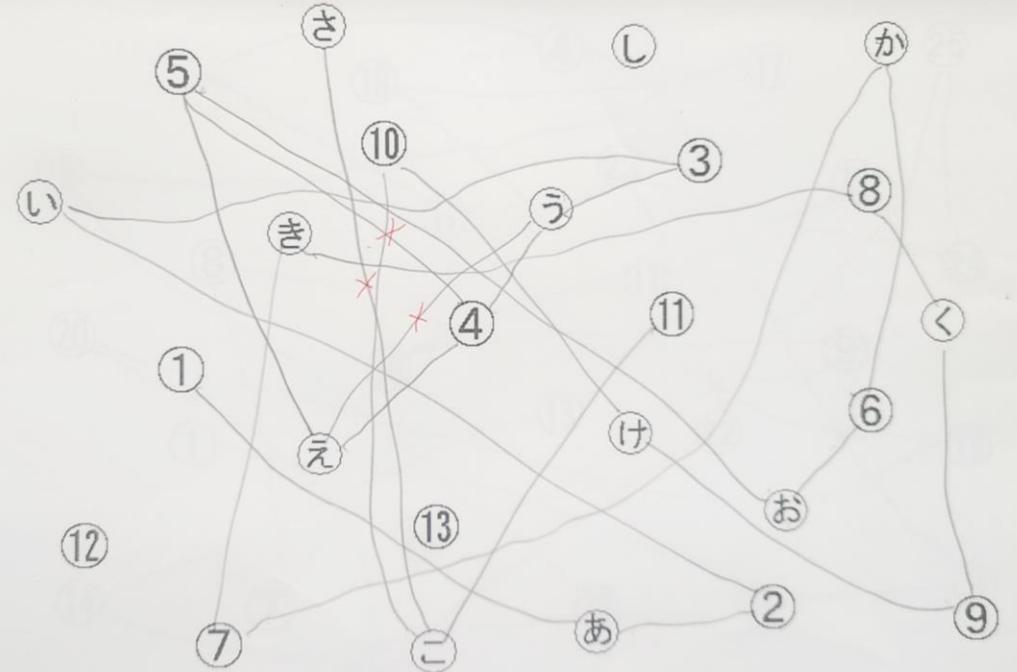
TMT-A



(10) 40秒  
(20) 2分10秒  
(26) 2分40秒

この問題  
現在地からゴールまで、最短経路を求めよ。

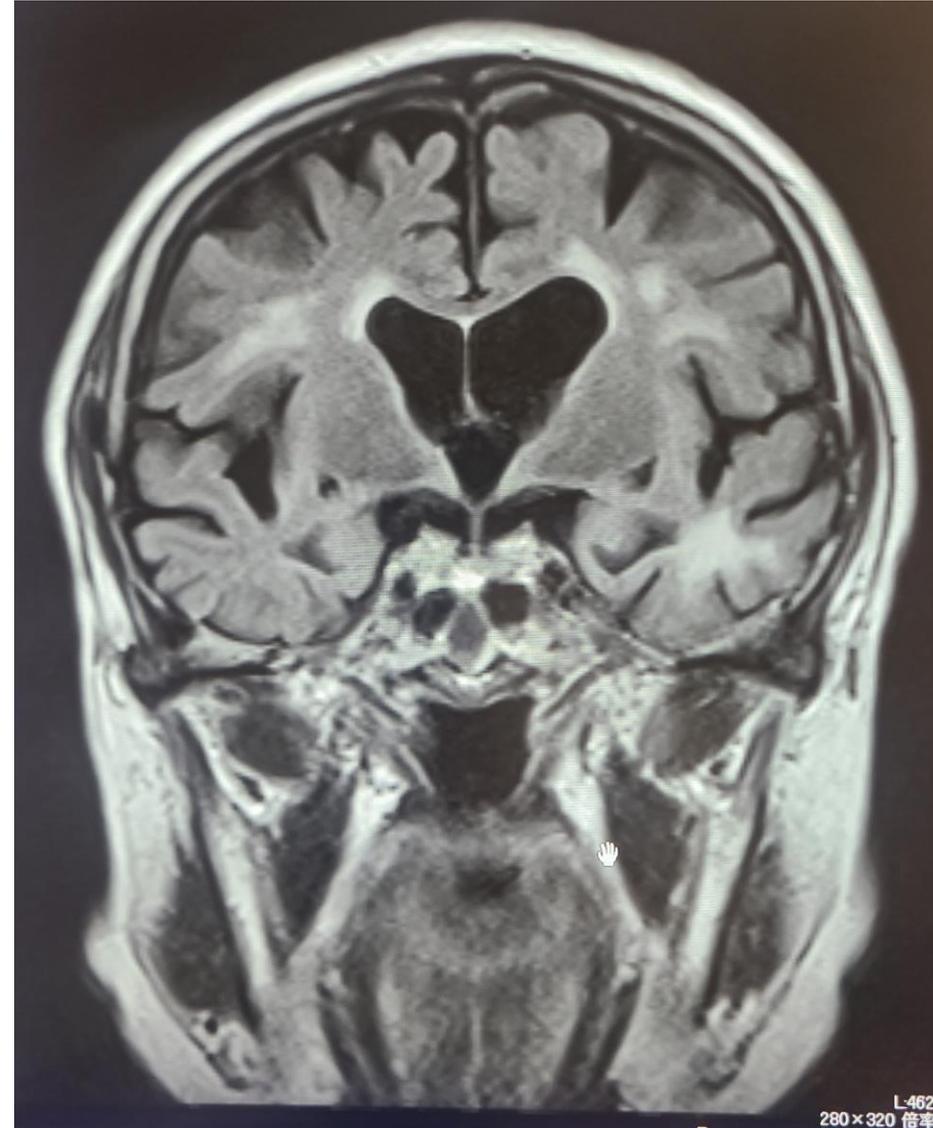
TMT-B



(8) 4分  
(13) 6分49秒

(11) 7分36秒で中止。  
\* (4)の時点で「数字は数字じゃない、ひんてんって?」と発言あり。

# 頭部MRI T2 flair 冠状断



VS-RAD  
z-score: 2.75

## 診断)

- ・アルツハイマー型認知症

## 治療)

- ・バファリンA81 1錠
- ・アムロジピンOD(5) 1錠
- ・アトルバスタチン(5) 1錠 すべて朝食後服用

## 方針)

- ・自動車を運転しなくても生活できる基盤作り
- ・衛生的な住環境を作る
- ・内科疾患の治療を再開する

# この症例の問題点

## 1.独居, 養子が遠方に在住

(1) 患者が養子を家に入れようとしなない (2)養子のアドバイスを聞かない

## 2.歩行が不安定

(1)歩行器を使う練習をデイで受けているが家では使わない (2) 転倒をしている

## 3.家の中が散らかっている

(1)片付けの手伝いを拒否する

## 4.鍵や携帯電話など物品を紛失する

(1)鍵がないからデイサービスに行けないと言う (2)合鍵を作るのを拒否 (3)携帯電話の購入を拒否

## 5.お金の管理など

(1)大量に通販を買う (2)訪問販売員に売りつけられる

# 多職種による認知症症例検討会

## 認知症疾患医療センターの 精神保健福祉士としての関わり

群馬県認知症疾患医療センター日新病院  
精神保健福祉士 堀田梢

# 「もの忘れ外来」での精神保健福祉士の役割

- 本人・家族・他医療機関・各種専門職の方から相談を受け、アセスメントを行い、診察の予約を入れる。
  - 診断結果によって、その後の治療や介護サービス利用について相談・検討していく。介護認定についての案内や、地域包括支援センター等の情報提供も行う。
  - かかりつけ医がいらっしゃる方の場合は、情報提供をさせていただき、その後も定期的なフォローアップをしていく。必要に応じて、他の専門機関への紹介も行う。
- ★診断後も縁が切れてしまわないよう、連絡・連携を取り、患者・家族を支えていくことを目指す。

# 初診時の問題点・疑問点

- ・家の中がゴミ屋敷状態
- ・消費者詐欺に合うなど、理解力・判断力の低下
- ・約束事・時間を覚えられないなど、見当識の低下
- ・入浴は銭湯に行っているが、衛生面は保たれているか
- ・車を運転しているが危険性はないか
- ・金銭管理はできているのか
- ・家族が遠方の為、緊急時対応はどうするか

などなど・・・問題が多数！

# 診断後の対応

- アルツハイマー型認知症と診断がつき、内科的治療も含めて薬物治療を開始。
  - デイサービスや配食サービスなどの、サービス利用を勧め、介護認定の申請をすることになった。
  - 車の運転を控えるように伝え、サービスを利用しながら、車が無くても生活ができるように環境を整えることになった。
- ★これらの情報を地域包括支援センター渡辺様に伝え、随時連携を取り合った。

# まずは薬が飲めるように

- ・担当医師から訪問薬剤指導の指示があり、本人・家族にその説明を行った。
- ・桐生調剤薬局に連絡し、訪問薬剤指導を依頼した。
- ・その後も定期的に報告を受け、連携をとった。
- ・随時、地域包括支援センター渡辺様と連絡をとった。

# 介護サービスを利用する

- ・ 介護認定の結果が要介護1となり、ケアマネジャーが決定した。
- ・ 担当ケアマネジャーと連携をとり、通所リハビリや配食サービスの利用が始まった。

# 日新カフェ(認知症カフェ)について

- 第2火曜日の午前と、第4月曜日の午後で開催中。
- どなたでも参加OK。
- 理学療法士による体操、卓球、モルック、脳トレクイズなど、体も頭も動かせる内容となっている。
  
- 認知症当事者の方が閉じこもりにならないように。
- ご家族が悩みや愚痴を言え、少しでもホッとできるように。
- 地域の方々との関わりがもてるように。

ご清聴ありがとうございました

# 多職種による認知症症例検討会 「訪問薬剤師としての関わり」

桐生調剤薬局  
薬剤師・齊藤 利弘

2023/11/--

バファリン配合錠A81	1錠	
アムロジピンOD錠5m g	1錠	
アトルバスタチン錠 5 m g	1錠	
分1 朝食後	28日分	

Aさん(80歳女性)、久しぶり(1年半)の来局。Bさん同伴。  
先日、日新病院、検査の為受診。今回から、服薬開始することに。お薬手帳などなく、今までの経緯は不明。収縮期血圧は160と高値。発疹などの過敏症状、生じた際は連絡するよう指導。  
バファリン錠A81内出血、鼻血などの不明な出血に注意してもらうよう説明行う。

2023/12/--

- Aさんのみ来局。前回のお薬をほとんど飲み忘れてしまった。7日分処方 日数調整を行うことに。
- 日新病院から、居宅療養指導の依頼連絡あり。

2024/01/--

- ・訪問開始。ご自宅内、足場もないゴミ屋敷状態です。お薬カレンダーにて服薬管理することに。
- ・今回からお薬の一包化を実施。バファリン配合錠A81は吸湿性の問題ある為、バイアスピリン錠100mgに変更提案。

2024/02/--

- ・お薬カレンダーの導入により服薬状況は良好？
- ・今後も飲み忘れなどに注意してもらうよう指導

2024/03/--

- ・前回、訪問した際(約2週間前)のお薬が、そのまま残っている状況。
- ・本人に服薬していない理由を尋ねたが無回答。
- ・血圧が上がってしまう旨、お話するがBp130位だったから問題ないとの意識
- ・電話フォロー(週2回)も行い、服薬状況及び体調を確認する
- ・デイサービスの利用開始を確認(週3回)

2024/04/--

- ・2週間後に訪問するものの7日分残薬あり
- ・電話フォロー行った日も、服薬出来ておらず
- ・訪問時も、なかなか服薬してもらえず。

2024/05/--

- ・最初は入室拒否。お薬をセットしたい旨を説明し中に入れて頂き残薬確認。28日分中、20日分の残薬あり。
- ・ケアマネジャーと相談。火曜・木曜・土曜日はデイサービス先での服薬を実施。

## 確実にお薬を飲んで頂くためには

- ・お薬を一包化して管理を行う
- ・お薬カレンダーなど利用し飲む日時に合わせて薬を準備する
- ・各種サービスを利用して頂く
- ・患者さん(利用者)の情報は共有する

# 地域包括支援センターとの関わり

## ～本人と家族と地域の人たち～



桐生市地域包括支援センター山育会  
主任介護支援専門員・渡辺 幸恵

# ①介護保険申請のきっかけ

【R4年3月】

「病院の先生から介護保険をしたほうが良いと言われたので手続きをお願いしたい」と、Aさんが来所。

【R4年5月】

申請代行。

認定調査はAさんの希望で地域包括支援センターで行った。

## ②介護保険サービスの利用

【R4年6月】 要介護1 認定期間(R4.5.2~R5.5.31)

- 要介護1で利用できるサービスについて説明。
- Aさんの困りごと・・・「家を片付けなければならないと思っているが、なかなかできない」
- ヘルパーと一緒に片づけることを提案。



【R4年10月】 訪問介護(週1回)の利用開始。



【R4年12月】 サービス休止。訪問しても不在が多く、ケアマネジャーもヘルパーも対応に苦慮。本人の意向でとなる。

### ③弟さんの逝去

【R5.5月】入院していた弟さんが逝去

- 弟さんは、入院前は毎日のようにAさん宅に来ていた
- Aさんが一番頼りにし、信頼していた家族だった
- 弟さんが亡くなったことをきっかけに、Bさんが関わるようになる
- 弟さんは、Aさんの物忘れに気付いていた？
- 最愛の弟さんを亡くしたAさんは、この頃より、ふさぎ込むことが増えた



## ④消費生活センターとの連携

【R5年8月】 高額布団の購入

- 包括職員がAさんの家の近くを通りかかると、見知らぬ若い男性が訪問している。
- Aさん 「ずいぶん高い布団を買っちゃった」
- 訪問していた男性からも話を訊き、会社名を確認
- Aさんは、電話で契約を促され、数日前に来た男性に契約書に署名をした
- 契約書の写しを見せられて、「契約したなら仕方ない」と支払ってしまった
- その額、なんと…



## ⑤車の運転について

【R5年8月】 認知機能テスト受講？

- Aさん来所「この前、警察から電話がかかってきて、もの忘れの講習のようなものを受けた」
- 足利に向かう途中で赤信号での停止違反？

## ⑥金銭管理について

【R5年9月】 不明の引き落としの事実

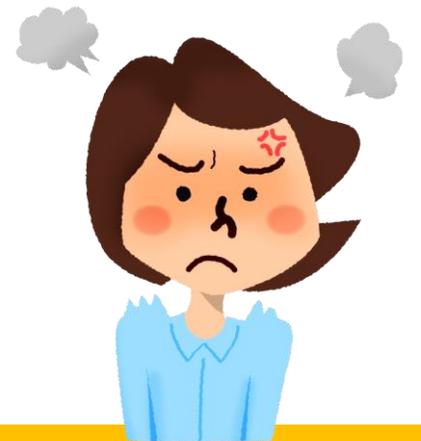
- BさんがAさんの通帳を持って包括に来所。
- 50万円、30万円、50万円が引き出されていることが判明。



## ⑦姪(Cさん)の介入

【R5年9月】 Cさんが包括に来所

- 近くに住むCさんが、来所。(Aさんは体操教室に参加中)
- 一緒にお墓参りに行く予定を本人が忘れていた。近所の人からも本人の様子がおかしいと聞いている。
- 弟にも消費生活センターから電話がかかってくる。
- 体操教室や町内の会計をやっている。詐欺の被害に合うような人が会計の仕事は出来ないのではやめさせたい。
- 本人は詐欺にあった認識がない。
- 認知症疾患医療センターの受診させたい。



## ⑧ 認知症疾患医療センター受診

### 【R5年10月】 認知症疾患医療センターの受診

- Cさんの介入により、認知症疾患医療センターの受診となる。
- 地域包括支援センターが予約等の調整を行う。
- 初回の受診時(検査)は、BさんとCさんが付き添った。
- 2回目の診察時は、地域包括支援センター職員も同行。
- アルツハイマー型認知症の診断を受ける。
- 服薬(降圧剤等)開始となる。

## ⑨近隣との関わり

【R5年10月～】 近隣住民からの情報提供・町会との連携

- Aさんが届いた海産物を「食べきれないから」と近隣の家に持っていく。しかし、冷凍で届いたものが解凍され、食べられない状態だった。
- 近所の人から町会長に、家の中の様子、車の運転のこと、金銭管理のことなどが心配と情報提供があった。
- 町会長と相談。
  - ☑Aさんの状況を理解して頂く
  - ☑町会の役員の仕事について
  - ☑食べ物を持ってきたときの対応



## ⑩地域包括支援センターとしての支援方針

【R5年11月】 包括3職種（主任ケアマネ・保健師・社会福祉士）

- Aさんの意向 「今の生活を継続したい」
  - 家族の意向 「入院を希望」
  - Aさんは「最近、もの忘れがあるのよ」と言うようになった。
1. 運転しなくても生活するのはどうしたら良いかを検討。車を運転して出かけている場所を確認する。
  2. 金銭管理の必要がある。
  3. 自宅の環境整備をする。

# ⑪意思決定支援

【R5年12月】 Aさん来所

- A4サイズの箱を持ってこられる。「組合のお金のことで分からなくなってしまった。」
- 「前よりもものの忘れが増えてきた。いろいろ分からなくなることがある。でも、まだボケてはいない・・・。」
- 「介護認定が出たら、どこかに行けるの？」
- 「3B体操には、あれ以来行かなくなってしまった。」
- 「お風呂は一人だけで入るのに掃除が面倒なので、外に入りに行っている。」

## ⑫連携

### 【R6年1月】

- 訪問薬剤管理指導の開始
- 町会の仕事(会計)について、町会長と相談

### 【R6年2月】

- 通所リハの体験利用を検討
- サンホープきりゅう櫻井ケアマネジャーに担当を依頼

### 【R6年3月】

- 通所リハの体験利用
- 介護保険サービスの利用開始

## ⑬残された課題

- ◆ 回数は減ったものの、車の運転をしていること
- ◆ 1日の食事摂取の状況
- ◆ 服薬が出来ていない
- ◆ 消費者被害、本人に購入の意思のない通信販売
- ◆ 金銭管理について

ご清聴ありがとうございました



# ケアマネジャーの関わり ～多職種との連携を通じて～

居宅介護支援事業所  
サンホープケアプランセンターきりゅう  
担当ケアマネジャー:櫻井 栄太

# 相談の経緯

## 相談の経緯

- 令和6年3月上旬桐生市地域包括支援センター山育会様より紹介  
Aさん、80代の女性、独居、要介護1。
- それまでの経過の説明を受ける
- 課題も多く、今後も包括も一緒に関わっていく

# 初回面談及び再面談

- 介護保険の説明
- 本人の同意を得て契約。Bさんとも面談し同様な説明し同意と今後の連携依頼。
- 課題分析  
ADL、家事等、自宅内の様子を確認。

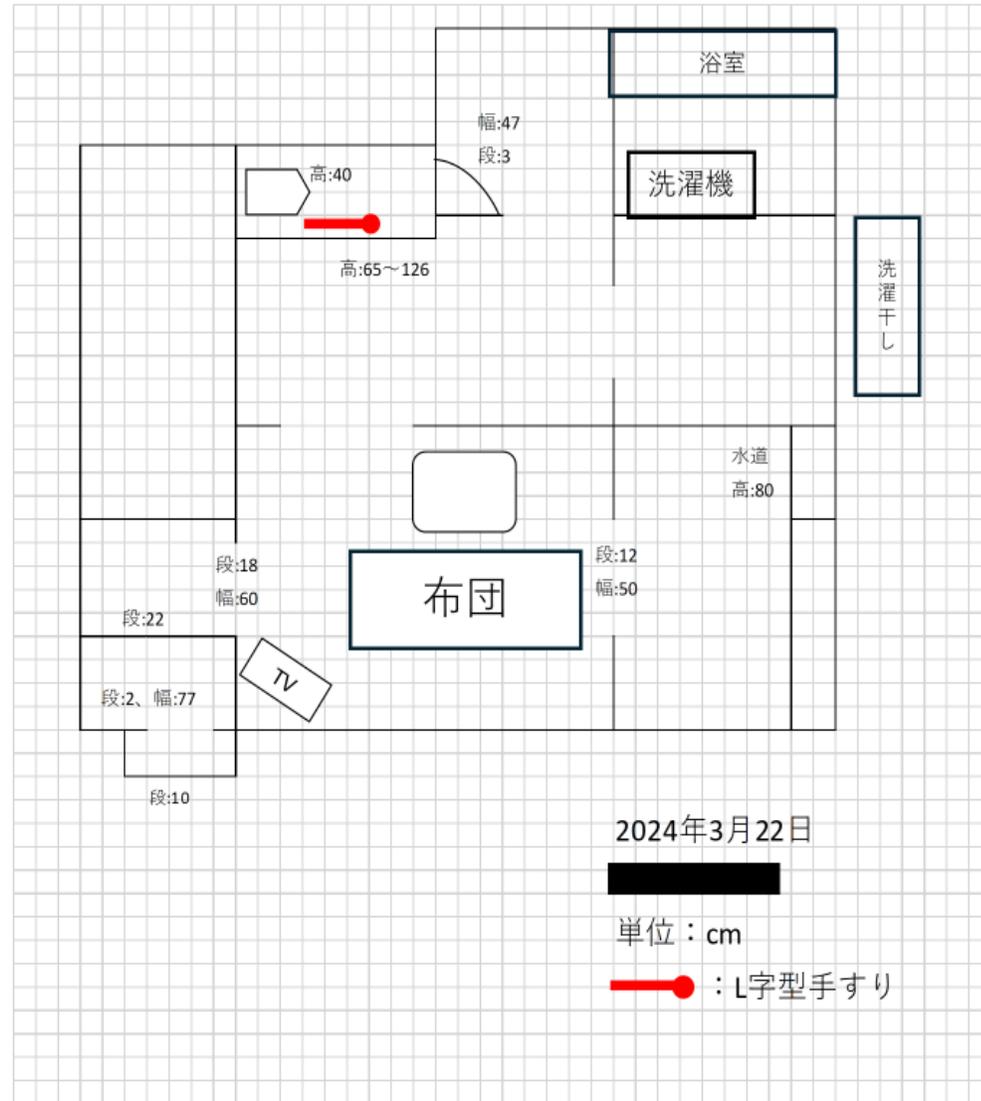
## Aさんの情報①

- ADLはほぼ自立。右肩・右肘・膝の痛みがあり、頭や背中がよく洗えていない。また長い距離が歩けない。
- 家事は少し洗濯、ゴミ捨てくらいで殆どせず、毎日外食と週2回の市の配食。
- 車で温泉、外食にしている。通帳からおろすのは自分でしている。

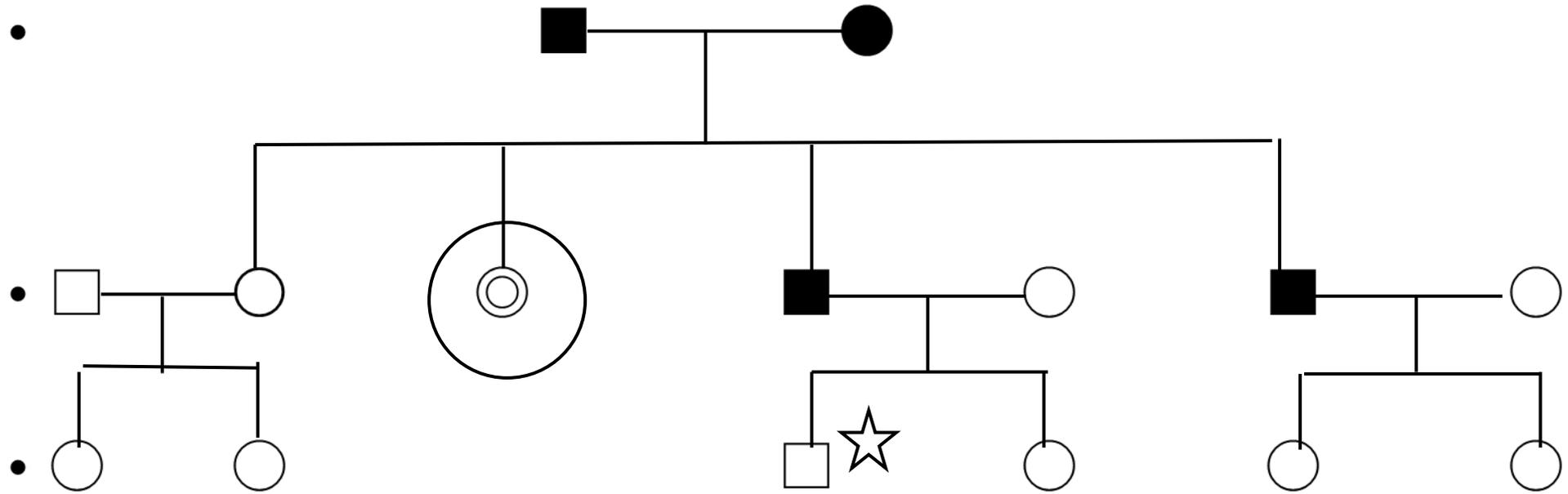
## Aさんの情報②

### 生活歴

○市にて、何でも屋?の父と母の元、4人兄妹の2番目(○◎■■)として生まれる。母は中学生の時に他界。銀行員になりたかったが、ひとり親家庭ではなれないと言われ、近くの会計事務所に中学卒業後勤める。社長の意向で、学校はいったほうが良いと勧められ、女子高の夜学に通う。4年で卒業し、そのまま会計事務所に70歳まで勤める。父親は86歳で亡くなり、その後は一人暮らし。結婚歴はなく、一つ下の弟の息子(Bさん)と養子縁組している。



# ジェノグラム



# サービス開始に向けて多職種連携

- 主治医である日新病院との連携
  - 現在、すでに支援に入っている桐生調剤薬局との連携
  - サービス事業所との連携
  - 配食サービス事業者との連携
  - 他、地域連携は担当包括を通じて
- 
- サービス担当者会議を開催し3月中旬より支援開始。

# 支援開始後、解決出来ていない課題

## 残された課題

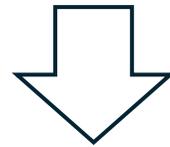
- ①車の運転のリスクの問題
- ②服薬の不安定
- ③部屋の片づけの問題
- ④金銭管理の問題
- ⑤大量の届く通販の問題

# 多職種による認知症症例検討会 ～通所リハビリでの関り～

介護老人保健施設サンホープ笠懸  
通所リハビリ介護主任・上松理恵子

# 〈通所リハビリ利用目的〉

認知症状があり、危険なため  
運転機会を減らしたい



- 入浴機会を設ける
- 歩いて外出できるように歩行訓練を行う

# 〈身体状況〉

- ・右肩可動域 30～90°で肩の屈曲困難
- ・膝関節の痛みにてすり足、ふらつきあり
- ・100m程の歩行で右足の振り出し低下や左腰部～臀部に痛み出現

課題 ○下肢筋力・持久力の低下  
○疲労感が出やすい

# 〈家屋調査とは〉

利用者が自宅で安全かつ自立して生活できるように理学療法士や作業療法士が生活環境を総合的に評価

家屋調査の結果に基づいて、利用者やその家族と相談しながら、具体的な改善策を提案することで利用者が自宅でより安全に、そして快適に生活できるようサポートする

# 〈見取り図〉

ケアマネからの事前情報

- ・物が多くある
- ・人を入れたがらない

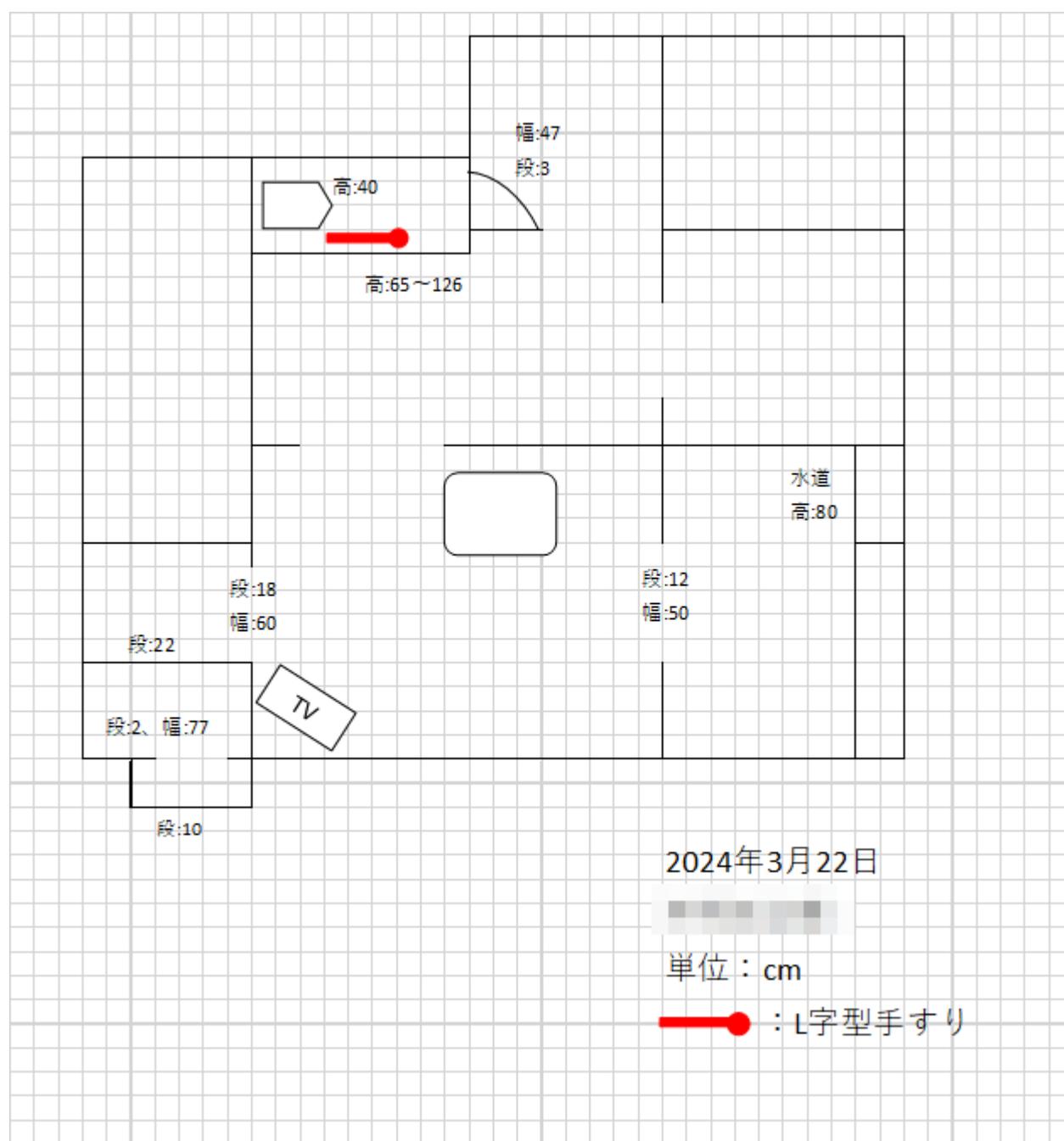


通所リハビリ

- ・必要性を説明し、  
本人より承諾を得て  
訪問調査実施



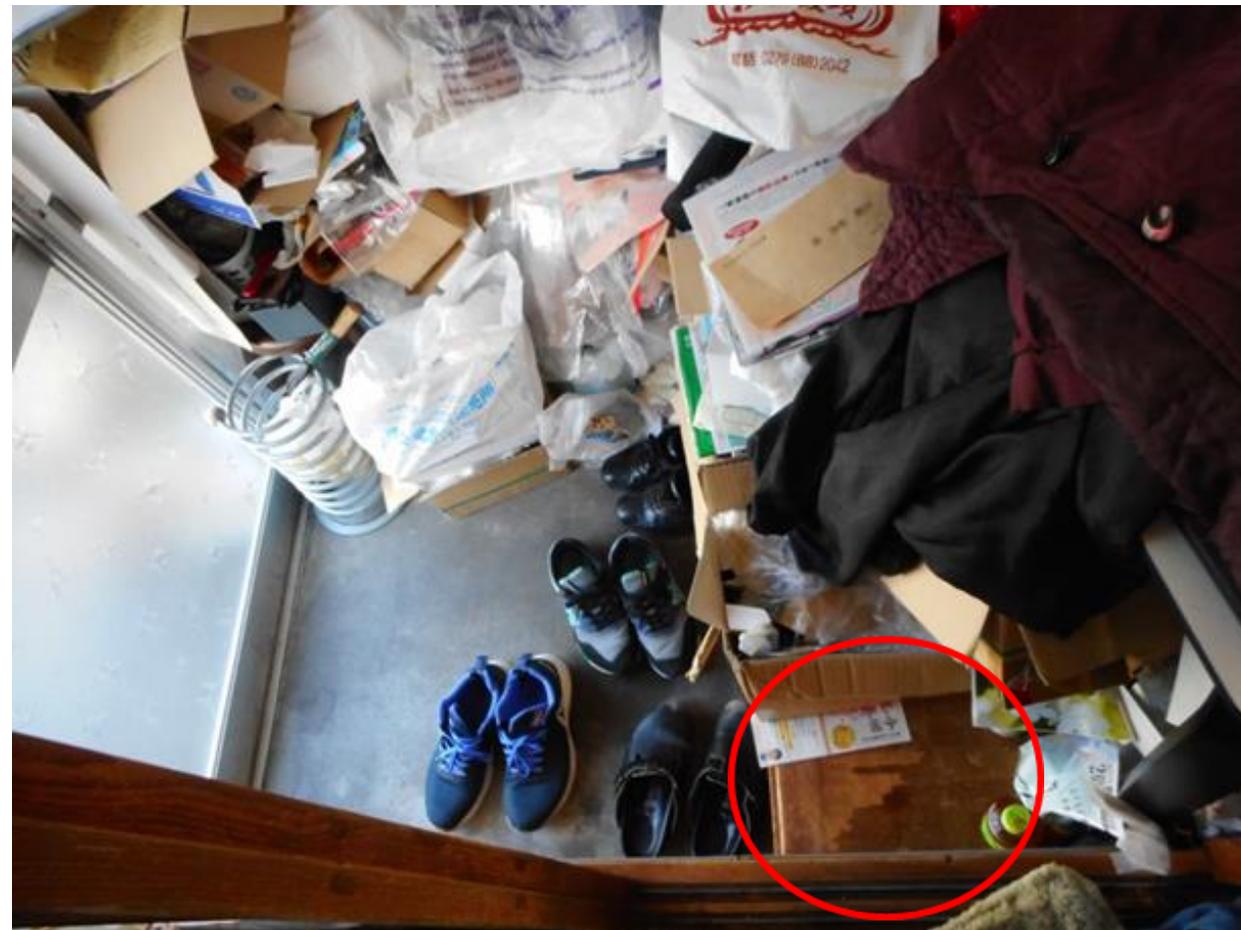
ケアマネと情報共有



# 〈玄関〉

## 動作

- ・上がり框等の段差部分は扉に掴まり自己にて昇降可能。
- ・靴の着脱も立位で可能。



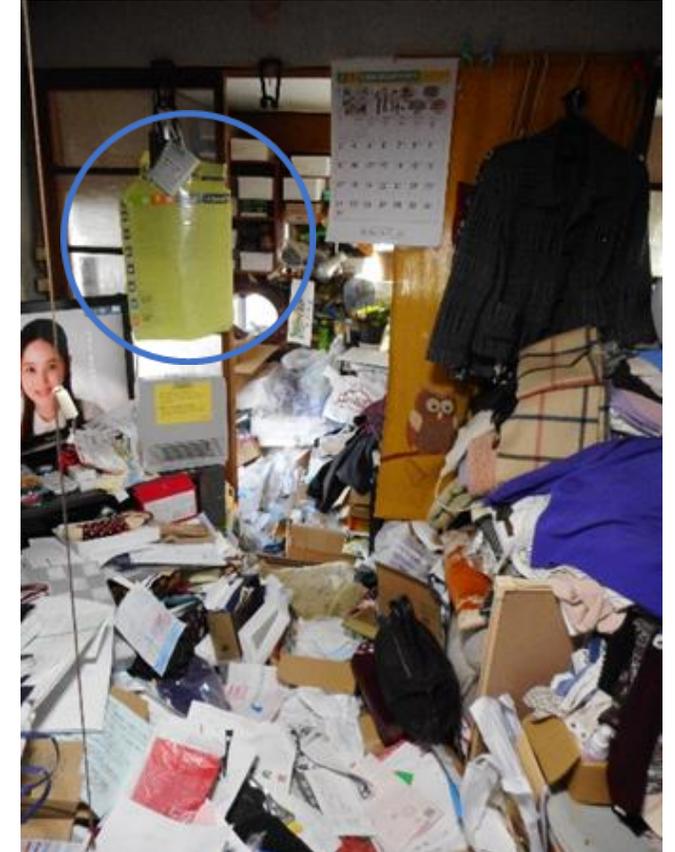
## 環境

- ・扉は引き戸で、入口に段差あり。
- ・玄関内から居間までは上がり框ともう一段段差あり。
- ・玄関内や上がり框を上がった部分には使おうと思って買った椅子やテーブル等の物が乱雑に置かれており、出入りするスペースはかなり狭くなっている(○部分)。

# 〈居間 兼 寝室〉

## 環境

- ・居間への入口は引き戸、入口に段差あり。
- ・室内は床が見えないほど書類や衣類等が乱雑に置かれており踏みながら歩く必要あり。



- ・寝具はなく、床の空いたスペースに寝ている(○部分)。
- ・内服は毎朝1回のみ。薬局職員が月2回程お薬カレンダーに仕分けしている(○部分)。

# 〈台所〉

## 環境

- ・居間の奥の台所も床が見えないほど、物が散乱しており、踏みながらシンクやコンロまで移動する必要あり。

## 動作

- ・食事は朝は買ってきたパン等で簡単に済ませて、昼と夕は毎回近くの飲食店へ徒歩で出掛けている。その他に買い物や友人宅等へ車で出掛けている。



# 〈居間からトイレまで〉

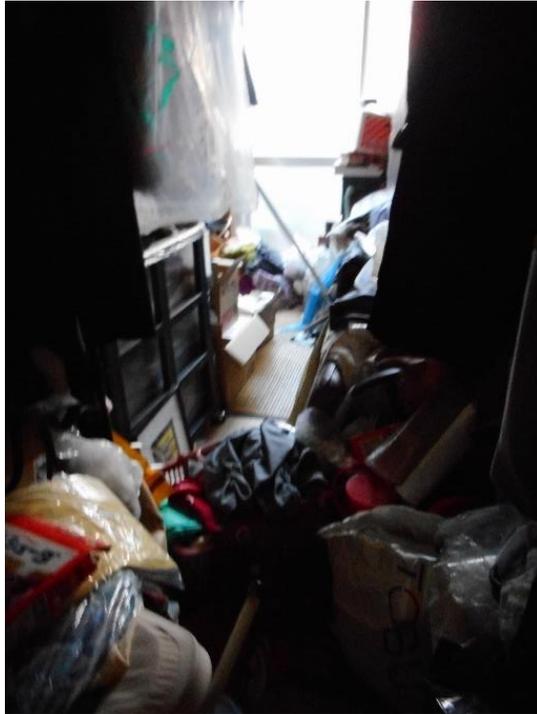


## 環境

- ・床が見えないほど、衣類等が散乱しており、踏みながらトイレまで移動する必要あり。

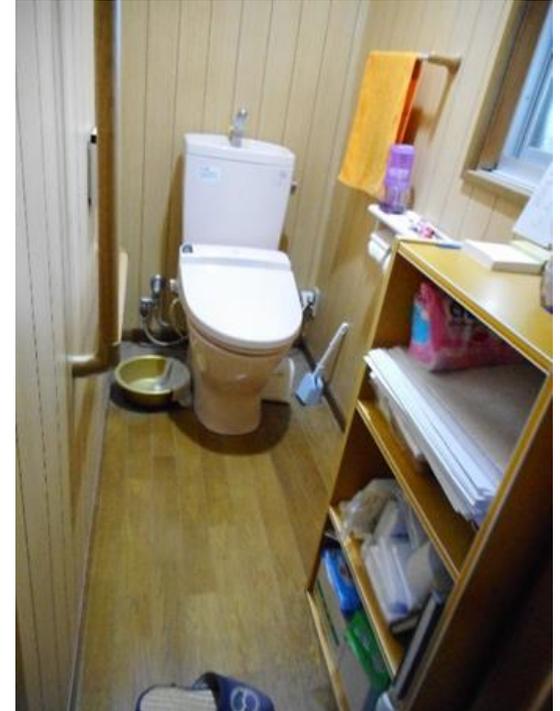
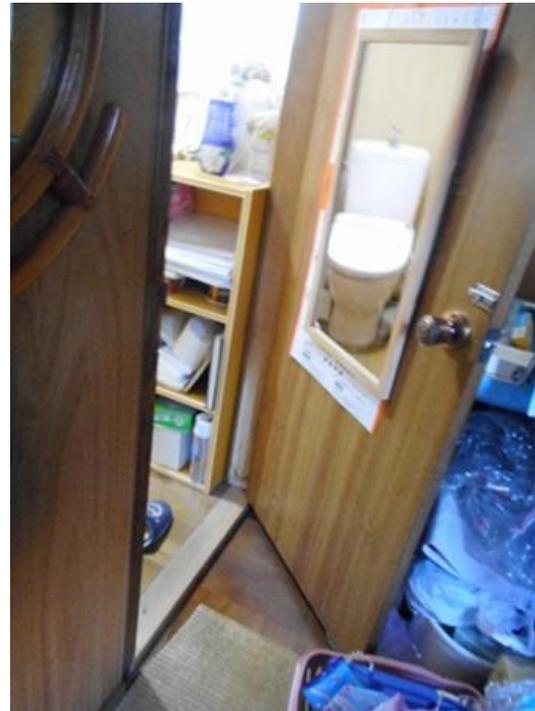
## 動作

- ・トイレまでの移動は自己にて可能。



## 環境

- ・扉は開き戸で、入口に段差あり。トイレ前のスペースは比較的確保されている。
- ・便座は洋式。トイレ内はきれいに片付けられている。入って左側の壁にL字型手すりの設置あり。
- ・トイレの正面には洗濯機があるが、使用していない。



# 〈内服〉

薬剤師：残薬多く、内服の自己管理が困難



ケアマネ：デイ利用時に朝食薬を投与の依頼



通所：1か月の利用回数分の薬を預かり  
到着時に看護師が投与

連携で内服する回数を増やすことができた

# 〈入浴〉

Aさんの気持ち

- ・自分の運転で温泉に行けている
- ・人の世話になりたくない
- ・情けない

⇒拒否

○本人の気持ちを否定しない声かけ

○職員だけでなく、顔見知りの  
利用者様にも声掛けしてもらおう

⇒入浴  
された

# 車での外出機会を減らすために…

通所リハビリで入浴したことを帰り際にさり気なく声掛けを行う

車でお風呂に出掛けている様子は変わらず  
運転機会の減少には繋がっていない

# 〈歩行状態〉

歩行状態安定するも、躓きや  
方向転換時のふらつきは見られる

⇒通所リハビリ利用中以外に複数回転倒



- 入浴時に全身状態確認することで痛みや傷の悪化を防ぐ
- 転倒での重症化を防ぐためのリハビリ提供

# 〈コミュニケーション〉

- 社会的でコミュニケーション能力は高く、世話焼きの面もある
- 行事やレクリエーションの参加は意欲的
- 外出は苦ではない



- 短期記憶能力低下にて物を失くす事が多い
- 話を取り繕う事があり、信憑性に欠ける

# 〈今後のかかわり〉

- 大きな怪我につながらないように歩行訓練やバランス訓練を継続していく
- 身体機能訓練だけでなく、認知機能が低下しないよう、引き続き交流の場や脳トレなどの机上課題も提供

**ご清聴ありがとうございました**

**介護老人保健施設サンホープ笠懸**

# Aさんの多重事故

6月上旬に多重事故をおこしてしまう。

- ・6/9の朝、包括へ本人来所。昨日の夕方、お風呂に入り  
にいき事故を起こしてしまったとの事。
- ・当日、通所リハビリの利用でもあり迎えにいくと同様  
な話。
- ・包括、通所リハビリから連絡をもらい訪問状況確認。
- ・Bさん、各関係者へ連絡。

# 事故後の対応①

車がない生活でまず何が困るのか本人・包括と話し合う。  
まずは代替えの検討

## ①シニアカー②歩行器

とあがり、主治医にも相談。新しい事は難しいのでシニアカーなどは厳しいと意見を頂く。通所リハビリに相談し歩行器の操作の練習。歩行器は、簡易的な物を試していく。

## ①食事②お風呂

お風呂は通所リハビリで入れている。他、歩いていける所に銭湯、美容室があり対応可能。食事については、昼はずっと外食だったので配食の提案し本人もお願いしたいと前向きな返事。  
なお、車は廃車し処分。車に関してはBさんが対応。

## 事故後の対応②

- ・昼食は民間の配食を試し、本人も食べられるとの事で依頼。薬も手渡ししてくれることとなる。ただ玄関から中に入れてもらえないので薬局の斉藤さんに相談し、玄関開けて手の届く所にお薬カレンダーを移動してもらい、中に入らなくても渡せるように斉藤さんが工夫して下さい。
- ・同時進行していた本人がもう希望しない通販業者への断り及び売り込み禁止の連絡を包括と一緒に行う。
- ・金銭管理について、少し前向きな発言あり。

# 対応後の経過

- 昼の弁当は食べられ、夕食や朝食は近くのお店で食べている。(朝は食べたり食べなかったり)
- 薬は飲みこぼしなどはあるかもしれないが大分飲めるようになる。
- お風呂は通所リハビリで入れるからいいと本人の気持ちに変化がみられる。
- 通販も6月～7月に7～8社断った事もあり、8月に新しい商品が届くのは大分減る。(中にはいっても送りつける通販会社もある。)
- 金銭管理については、包括さんを通し日常生活自立支援事業の方に来てもらいよく説明してもらおうがやはり通帳を渡すのは抵抗があり話は進まず。

# 最後に

課題解決していく上で初めから共有していることはAさんが不利益にならない限り

**「Aさんの意思決定支援を大事に対応していく事」**

令和6年度多職種連携合同研修会 兼 認知症対応力向上研修会

# 多職種による 認知症 症例検討会

9/4  
(水)

令和6年1月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。  
令和6年度桐生市・みどり市ともに「認知症」にフォーカスをした事業展開を目指しており、その一環として今回の「多職種による認知症症例検討会」を企画致しました。  
1つのケースについて、関わっている専門職の皆さまから報告をいただき、認知症の診断を受け在宅で生活されている方の支援について多角的な視点での検討ができればと思います。  
多くの職種の皆さまのご参加をお待ちしております。

**日時** 2024年**9月4日(水)** 19:00~21:00(予定)  
(18:30~受付)

**会場** 美喜仁桐生文化会館 スカイホール  
(桐生市市民文化会館)

**対象** 桐生市・みどり市の **定員** 100名 **参加費** 無料  
医療・福祉専門職の方

## プログラム

① 症例検討会 ~ご登壇される専門職の皆さま~

認知症疾患医療センター  
センター長  
吉村 章氏

認知症疾患医療センター  
精神保健福祉士  
堀田 梢氏

サンホープケアプランセンターきりゅう  
主任介護支援専門員  
櫻井 栄太氏

地域包括支援センター山育会  
主任介護支援専門員  
渡辺 幸恵氏

介護老人保健施設  
サンホープ笠懸 介護主任  
上松 理恵子氏

桐生調剤薬局  
管理薬剤師  
斉藤 利弘氏

② 意見交換 ※個人を特定されてしまう可能性があるため、当日の資料配布はございません。

## その他

日本医師会生涯教育カリキュラムコード29  
主任介護支援専門員更新研修における法定外研修に相当します

【お問い合わせ】

お申込みは裏面へ

一般社団法人桐生市医師会 在宅医療介護連携センターきりゅう  
TEL:0277-32-5222 FAX:0277-32-5223 E-Mail:info@renkei-kiryu.org

主催：桐生市 / みどり市 / 桐生市医師会 / 群馬県認知症疾患医療センター日新病院 / 在宅医療介護連携センターきりゅう  
後援：群馬県

# 多職種による認知症症例検討会 参加申込み

お申込みはこちらから

## 【申込方法】

- この用紙を使用してファックス  
または下記URL・QRコードから参加申込フォームにて  
お申し込みください

参加申込フォーム：<https://forms.gle/8X6eNJpTXATeXGp9A>



【参加申込書】\*事務局からのご連絡は原則「メール」にて行います。メールアドレスのご記載をお願い致します。

所属機関名		
連絡先	TEL	E-mail
	(フリガナ) 氏名	職種
1	-----	
2	-----	
3	-----	
4	-----	
5	-----	
【備考】		

※お申込みに際しいただいた個人情報には本研修以外には使用致しません※